

## 実験報告書チェックリスト

チェック項目：右の「チェック」欄に入力→OK（問題なし） NA（関係なし） NG（問題あり）					チェック	備考
A	書式や体裁					
	文章編					
1	【必須】文末は「だ」「である」で書いている（「ですます調」を使っていない）	OK	NA	NG		
2	【必須】段落の頭は一字下げている	OK	NA	NG		
3	【必須】フォントやフォントサイズはテンプレートと同一である（フォントやフォントサイズを変更していない）	OK	NA	NG		
4	【必須】句読点を統一している（「、」「。」または「、」「。」の組み合わせに統一する）	OK	NA	NG		
5	【必須】参考文献を本文内で正しく引用している	OK	NA	NG		
6	【必須】報告書の最後に参考文献が正しく記載されている	OK	NA	NG		
7	【必須】誤字脱字がない	OK	NA	NG		
	図表編					
1	【必須】全ての図表に図表番号とタイトルがある	OK	NA	NG		
2	【必須】図のタイトルは図の下に書いている	OK	NA	NG		
3	【必須】表のタイトルは表の上に書いている	OK	NA	NG		
4	【必須】図は図の登場順に番号が振られ（図1、図2・・・）、表は表の登場順に番号が振られている（表1、表2・・・）。表と図が交互に登場した場合に「表1、図2、表3・・・」のような連番にしない	OK	NA	NG		
5	【必須】図や表について本文内で適切に参照し、説明を行っている（図や表を掲載しただけではダメ）	OK	NA	NG		
B	表紙					
1	【必須】表紙にプロジェクトテーマが記載されている	OK	NA	NG		
2	【必須】表紙にプロジェクト実践を表すタイトルが記載されている	OK	NA	NG		
3	【必須】表紙にグループ番号が記載されている	OK	NA	NG		
4	【必須】表紙に学生番号が記載されている	OK	NA	NG		
5	【必須】表紙に氏名が記載されている	OK	NA	NG		
6	【必須】表紙に日付（提出日）が記載されている	OK	NA	NG		
C	1.はじめに					
1	【必須】取り組んだ実験テーマの背景や目的を簡潔に説明している	OK	NA	NG		
2	【必須】グループで設定した問題や目標を具体的に説明している	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
3	【推奨】「背景や目的」と「問題や目標」のつながりが明確に記述されている（なぜその課題を設定したのかが伝わる）となお良い	OK	NA	NG		
4	【推奨】報告書全体が長文（おおむね10ページを超える）になった場合、「1.はじめに」の前に「概要」として200～300字程度の概要を書いているとなお良い。報告全体の概要として、何を目的に、どのようなアプローチでその課題に取り組んだのか、どのような成果を目指して、なにが得られたのかなどの要点が整理して記述されていること。	OK	NA	NG	個人でバラバラに書く	
D	2.実験計画・設計					
1	【必須】設定した問題に対し、どのような実験計画を立てたのか具体的に説明している	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
2	【必須】設定した問題の解決に対してなぜこの計画・設計が有効だと考えたのか、その根拠を明確に述べている	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
3	【必須】「実験計画・設計ワークシート」の記載内容に基づき、計画段階で決めていたチームメンバーのそれぞれの役割分担について書いている	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
4	【必須】グループ内で自分が担当した役割や作業内容について具体的に記述する（「〇〇部分のプログラム作成を担当」「△△のパラメータ設定とデータ収集を担当」など）	OK	NA	NG	個人でバラバラに書く	
5	【必須】中間発表後に計画が変更になった場合は、中間発表後の全体スケジュール/役割分担を書いている	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
6	【推奨】中間発表後に計画が変更になった箇所は、赤字や下線を使用するなどして、変更前後の差異がわかるように書いていなるとなお良い	OK	NA	NG		
7	【推奨】中間発表後に計画が変更になった場合は、変更の理由を簡潔に書いているとなお良い	OK	NA	NG		
E	3.実験手順・実装					
1	【必須】毎回の授業での取り組みに対する記録に基づき、「実験をどのように進めたか」を書いている	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
2	【必須】必要に応じて図（フローチャートなど）やコードの一部（本質的な部分のみ）を引用している	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
3	【推奨】自分が担当した部分を明確にしているとなお良い	OK	NA	NG	個人でバラバラに書く	
E	4.結果					
1	【必須】実験によって得られたデータや事実を客観的に示している	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
2	【必須】必要に応じて表やグラフを用いてわかりやすく記述している	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
F	5.考察					
1	【必須】結果を踏まえて、分析・解釈し、 <b>グループ共通</b> の考察を記述している ◆結果から何が言えるのか？ ◆当初設定した目標は達成できたか？ ◆結果は当初の予想通りだったか？予想と異なる場合、その原因は何か？ ◆実施した実験の限界や問題点は何か？（データの偏り、シミュレーションモデルの不適切な抽象度設定など）	OK	NA	NG	グループで統一して書く	
2	【必須】上記に加えて <b>個人の視点で分析・解釈し、考察を記述</b> している	OK	NA	NG	個人でバラバラに書く	
3	【必須】設定した問題に対する結論を明確に記述している（単なる感想は不可。客観的な根拠に基づいた議論を開拓するここと）	OK	NA	NG	個人でバラバラに書く	
4	【推奨】実験の限界や問題点に対して、今後どうすればよいか改善策について考察を行うとなお良い	OK	NA	NG	個人でバラバラに書く	
G	6.おわりに					
1	【必須】報告書全体の内容を簡潔に要約して記述している	OK	NA	NG	個人でバラバラに書く	
2	【推奨】残された課題や今後の展望について触れるとなお良い	OK	NA	NG		

## 実験報告書チェックリスト

チェック項目：右の「チェック」欄に入力→OK（問題なし） NA（関係なし） NG（問題あり）			チェック	備考
H	謝辞、付録			
1	【必須】実験及び報告書作成において生成AIを使用した場合は、次の情報を付録としてまとめている ◆ 使用した目的 ◆ 使用したAIの種類 ◆ 生成された結果をどのように修正して使用したのか		OK NA NG	
2	【推奨】協力者に対して謝辞を書くとなお良い		OK NA NG	
3	【推奨】中間発表のプレゼン資料を掲載している		OK NA NG	
4	【推奨】最終発表のポスター資料を掲載している		OK NA NG	
5	【推奨】その他、報告書の内容を補う資料や成果物等を掲載している（実験に使用したプログラムのソースコード、アプリのスクリーンショット、詳細なデータなど）		OK NA NG	

## 備考欄

- ・「グループで統一して書く」という項目は、グループメンバー間で報告書の内容や表現が一致している必要があります
- ・「個人でバラバラに書く」という項目は、グループメンバー間で報告書の内容や表現が異なる必要があります
- ・空白の項目は、グループでも個人でもどちらでもいい（グループ内で協力をしながら個人で表現を考えられるとベスト）です